

■コメント

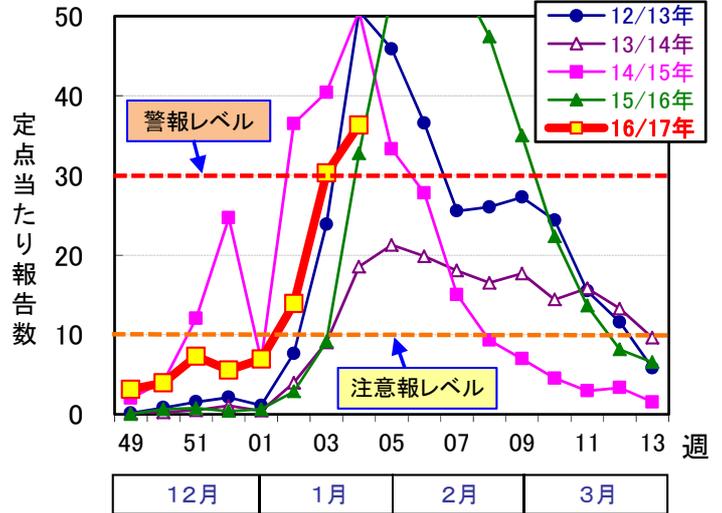
1. インフルエンザ

定点当たり36.3人と、前週と比べてやや増加し、依然警報レベル(定点当たり30.0人)を超え、多い状況です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告数も小学校を中心に増加しています。(次頁参照)

なお、市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、報告のあった478人すべてA型陽性でした。

引き続き健康管理に十分注意し、手洗いの励行、咳エチケット、適度な湿度(50～60%)の保持、人ごみを避けるなど感染予防対策を徹底し、流行の拡大防止に努めましょう。また、症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	1343	36.30	35.06	↗
	咽頭結膜熱	8	0.33	0.26	↗
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	2.25	2.10	↗
	感染性胃腸炎	103	4.29	10.19	↗
	水痘	16	0.67	1.08	↗
	手足口病	6	0.25	0.18	↗
	伝染性紅斑	3	0.13	0.51	↗
	突発性発しん	8	0.33	0.40	↗
	百日咳	-	-	0.03	↗
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.02	↗
小児科	流行性耳下腺炎	6	0.25	0.35	↗
	RSウイルス感染症	8	0.33	0.44	↗
	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	↗
	流行性角結膜炎	4	0.50	0.53	↗
	細菌性髄膜炎	-	-	-	↗
	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	↗
	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.31	↗
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	↗
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	↗
	眼科	流行性角結膜炎	4	0.50	0.53
基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	↗
基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	↗
基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.31	↗
基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	↗
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	↗

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	18	女性(30歳代)・1人、女性(40歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	女性(10歳代)・O157・市外
4	レジオネラ症	1	1	男性(70歳代)

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
		第52週	205	2	34	147	18	10	2	9	-	-	2	15	-	3	-	-	1	-	-	-
第1週	257	10	34	121	18	17	7	5	-	2	9	13	1	7	-	-	2	-	-	-	-	
第2週	515	7	41	123	24	10	4	6	-	-	3	4	-	1	-	-	3	-	-	-	-	
第3週	1,122	3	47	120	15	10	1	7	-	-	1	14	-	8	-	-	1	-	-	-	-	
第4週	1,343	8	54	103	16	6	3	8	-	1	6	8	-	4	-	-	-	-	-	-	-	
定点当たり	第52週	5.54	0.08	1.42	6.13	0.75	0.42	0.08	0.38	-	-	0.08	0.63	-	0.38	-	-	0.14	-	-	-	-
第1週	6.95	0.42	1.42	5.04	0.75	0.71	0.29	0.21	-	0.08	0.38	0.54	0.13	0.88	-	-	0.29	-	-	-	-	-
第2週	13.92	0.29	1.71	5.13	1.00	0.42	0.17	0.25	-	-	0.13	0.17	-	0.13	-	-	0.43	-	-	-	-	-
第3週	30.32	0.13	1.96	5.00	0.63	0.42	0.04	0.29	-	-	0.04	0.58	-	1.00	-	-	0.14	-	-	-	-	-
第4週	36.30	0.33	2.25	4.29	0.67	0.25	0.13	0.33	-	0.04	0.25	0.33	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	第2週	15.25	0.29	1.45	6.48	0.43	0.14	0.09	0.38	0.01	0.03	0.85	0.37	0.02	0.59	0.02	0.03	0.72	0.02	0.06	0.06	0.06
第3週	28.66	0.30	1.99	7.00	0.35	0.22	0.11	0.41	0.01	0.03	0.59	0.38	0.01	0.55	0.02	0.03	0.62	0.01	0.07	0.07	0.07	

## ■ 新たに判明した病原体検出状況

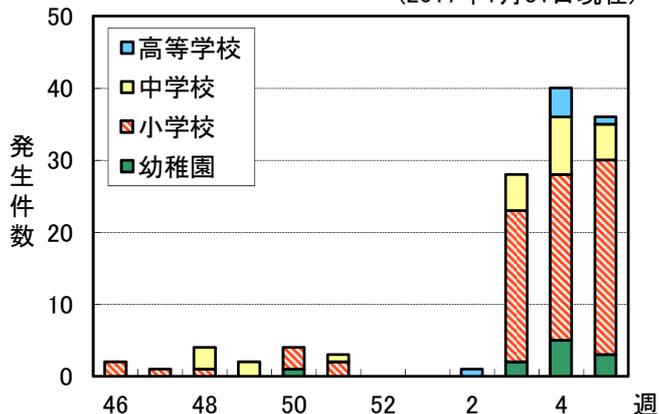
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.7) 咽頭炎 鼻炎	7	男	2016/12/19	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(40.1) 熱性痙攣	1	不詳	2016/12/20	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.7) 鼻炎	1	男	2016/12/23	鼻汁(拭い液)	B型インフルエンザウイルス
その他の消化器疾患	嘔吐 下痢	2	男	2016/12/18	糞便	アデノウイルス5型
その他の消化器疾患	嘔き気 腹痛	2	男	2016/12/19	糞便	アデノウイルス2型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の発生状況

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等発生件数  
(2017年1月31日現在)



広島市におけるインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第4週に40件、第5週(1月30日～2月5日)に36件の報告があり(1月31日現在)、第3週以降、小学校を中心に報告数が増加しています。

なお、今シーズン(注1)のインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の累計は121件(幼稚園:11件、小学校:80件、中学校:24件、高等学校:6件)です。

また、広島市衛生研究所による遺伝子検査(注2)では、今シーズンは、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型が1件、インフルエンザウイルスA(H3)型が17件、B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)が2件検出されています。

(注1) 期間は、2016年第36週～2017年第35週です。

(注2) 感染症発生動向調査における病原体定点において採取された検体等を、広島市衛生研究所で検査したものです。

学級閉鎖等の発生状況については、広島市感染症情報センターHP「広島市におけるインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等(集団かぜ)の発生状況」にてご確認ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1268282961993/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail [ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp](mailto:ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp)

2017年第4週(1月23日～1月29日)